


提出 順番	No. 6	令和6年5月30日 午前・午後10時58分
----------	----------	--------------------------

令和6年5月30日

幕別町議会議長 寺林 俊幸 様

幕別町議会議員 野原 恵子 

一般質問通告書

次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨
1 アイヌ文化拠点施設の充実を	<p>アイヌ文化拠点施設は、実施設計の概要が示され本年度から本格的に工事が行われます。設計段階から各団体と協議し進められ、2026年度から展示館棟・宝物堂が公開開始となり、併せて生活館棟でも情報発信や来館者へのガイダンスの役割を担っていくことになっています。</p> <p>施設の基本理念では、「先住民族であるアイヌの人々の誇りを尊重し、その文化を伝承するための活動を推進するとともに、訪れた方がアイヌ文化及び歴史に触れ、学ぶことでアイヌ民族に対する理解を深め、交流を促進することを目指す」としています。</p> <p>アイヌ民族に対する理解を深めていくには、江戸時代から明治政府にいたるアイヌ民族の位置付け、特に明治政府になってから同化政策として、アイヌが培ってきた言葉も文化も奪いアイヌを「旧土人」として蔑視してきたことへの認識が必要です。</p> <p>また、アイヌの人々が先住民族として法的な地位と権利を求め続け、2019年5月に「アイヌ新法」が施行され、法律として初めて先住民族として明記された事などを学ぶことが出来る施設になることが重要と考えます。</p> <p>以下、次の点について伺います。</p> <p>(1) 常設展示・企画展示について</p> <p>① アイヌの人々が意思決定に参画していくことは。</p> <p>② 同化政策の歴史について理解を深めていく手立ては。</p>

2 ふるさと館の今後の方向性は

(2) 学校教育、社会教育でアイヌ民族の自然への考え方などを学び、町民と共に文化施設として充実させていくことは。

ふるさと館は1979年(昭和54年)に町の歴史資料を保存、展示する施設として開設されました。展示物は町民から開拓時代に使われた道具などが寄贈され、生活実態がリアルに再現されるなど開拓時代の先人たちの生活の厳しさが如実に伝わってきます。

ふるさと館の事業としては、郷土史研究会、ジュニアスクールなどの運営を行っていますが、施設は老朽化しており対応が必要と考えます。

以下、次の点について伺います。

- (1) ふるさと館の施設、事業内容の評価は。
- (2) 老朽化している施設の今後の方向性を検討すべきでは。